

I 施設の概要		施設コード		S06-01-01	
施設名	日暮里地域活性化施設（ふらっとにっぽり）				
所在地	東日暮里六丁目17番6号				
部課名	産業経済部経営支援課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位：千円)	財源内容（単位：千円）		
			国・都	区債	一般財源
	建築	令和2年11月 1,448,939		523,000	
	増改築①				
	増改築②				
併設施設	日暮里区民事務所				
竣工年月日	令和2年11月18日			区職員	その他
供用開始年月日	令和3年1月25日	職員数	2		
構造	鉄骨造	階層	地上5階建て		
面積	敷地面積			724	m ²
	延床面積			2,019	m ²
設置目的・経緯	地域住民・来訪者の利便性向上と活動・交流の促進による地域の活性化及び創業支援による地域産業の振興に寄与する。産業経済部経営支援課、区民生活部区民課				
関連部署	産業経済部経営支援課、区民生活部区民課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立日暮里地域活性化施設条例				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	34台	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



管理形態	委託	株式会社日本環境ビルテック		期間	令和5年4月1日 令和8年3月31日	から まで
事業内容	(1) 地域に関する情報の提供に関する事業 (2) 創業の支援に関する事業 (3) 活性化施設の施設の使用に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時30分から午後10時まで				
	休日	年末年始、全館清掃・点検日等				
施設基本データ等	貸室利用者数(人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
		186	4,536	7,937	10,971	11,000
に指定 用係等 管理費						
備考	施設は令和3年1月に開館。新型コロナウイルス感染症の感染対策に伴う休館や利用制限により、利用者数・利用可能日数・利用率は低い傾向となっていたが、制限解除に伴い利用者数は増加している。					

行政コスト計算書		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	行政収入			
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	57,465	19,328	▲ 38,137	地方税等	0	0	0
		物件費	108,944	95,893	▲ 13,051	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	1,402	270	▲ 1,132	都支出金	6,498	6,529	31
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	183	250	67	使用料及び手数料	11,612	5,966	▲ 5,646
		減価償却費	61,096	45,056	▲ 16,040	その他	893	819	▲ 74
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	19,003	13,314	▲ 5,689
		賞与・退職給与引当金繰入額	9,298	2,378	▲ 6,920	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 219,385	▲ 149,861	69,524
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 209	▲ 155	54
		行政費用合計(b)	238,388	163,175	▲ 75,213	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 219,594	▲ 150,016	69,578
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 219,594	▲ 150,016	69,578		

貸借対照表		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	貸借対照表			
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	68,968	66,242	▲ 2,726
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	65,284	65,303	19
		有形固定資産	1,585,536	1,175,672	▲ 409,864	賞与引当金	3,684	939	▲ 2,745
		土地	210,259	210,259	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	1,494,983	1,098,018	▲ 396,965	固定負債	513,135	417,819	▲ 95,316
		建物減価償却累計額	▲ 121,727	▲ 134,469	▲ 12,742	特別区債	457,716	409,390	▲ 48,326
		工作物等	2,334	2,334	0	退職給与引当金	55,419	8,429	▲ 46,990
		工作物等減価償却累計額	▲ 313	▲ 469	▲ 156	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	592	516	▲ 76	負債の部合計	582,103	484,061	▲ 98,042
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	1,004,025	692,127	▲ 311,898		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,004,025	692,127	▲ 311,898		
資産の部合計	1,586,128	1,176,188	▲ 409,940	負債及び正味財産の部合計	1,586,128	1,176,188	▲ 409,940		

備考
行政費用としては、施設維持管理に係る委託料が多くなっている。行政費用及び行政収入に減少している科目が多いが、施設にある区民事務所の施設分析シートが令和5年度決算額から新たに作成され、当該施設の費用等が計上されなくなったためである。

	指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	0.0	0.0	8	12.3	
	1㎡あたりコスト(円)	44,867	113,123	118,012	80,804	
	受益者負担比率(%)	3	6	5	3.7	
	区民1人当たりコスト(円)	419	1,050	1,102	754	
	貸室利用者数(人)	186	4,536	7,937	10,971	
備考	新型コロナウイルス感染症に起因する利用制限の解除に伴い、貸室利用者数は想定に近づいている。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	無	有	(計画名:)				
目標指標	指標名・単位		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	多目的スペース利用率	目標値 実績値	60 1	60 15	60 31	60 44	60 50
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 ● 現状維持	民営化 その他()	他施設との統合		廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 ● 無	(変更内容:)					
利用者・地域のニーズ	地域住民・来訪者の利便性向上と活動・交流の促進による地域の活性化を図る施設であり、オフィス・シェアオフィスにおいては創業支援事業を展開しており、必要性は高い。						
現状・課題	事業展開（おもてなしスペースの活用方法検討やワークショップ等の企画等）においては、施設利用者・地域住民・関係諸団体と連携し、調和を図りながら、「地域の活性化」というテーマを実現する取り組みが求められている。						
課題に対する現時点での考え	区及び施設入居事業者、施設管理運営事業者と地域住民・関係諸団体が連携できるスキームを構築し、企画・事業・広報・広聴等の活動を展開していく。						
議会、利用者等からの意見	令和3年2月会議 日暮里繊維街との連携について 令和3年6月会議 集客及びおもてなしスペースの活用について						